

令和7年度 盛岡工業高等学校教職員 働き方改革アクションプラン

～健康保持の実現と、誇りとやりがいを持った職場を目指して～

盛岡工業高等学校では、「岩手県教職員働き方改革プラン(2024～2026)」に基づき、以下の取組により、「学校における働き方改革」を推進します。

1 現 状

【定量的現状】

- ◆ 時間外在校等時間が月80時間以上の職員の割合
R6年度:0.68%(参考:R5年度:5.8%、R4年度:27.8%)
- ◆ 年次休暇の取得状況(年間一人当たりの平均取得日数)
R6年度:15.67日(参考:1日単位の取得日数が5日未満19.3%)
- ◆ 職員健康区分D3以外の割合 88.8%

【定性的現状】

- 教職員の意識
 - ・勤務時間の管理について主体性を持って取り組んでいる。
 - ・部活動指導の時間外勤務が多くなる現状であるが、部活動の活性化と働き方改革を両立させていくよう工夫している。
- 管理職のマネジメント
 - ・スクラップアンドビルドの視点を持って業務見直し等の検討を行っている。

2 目標・目指す姿

県の働き方改革プランの目標を前提に、以下の目標を設定します。

【学校独自の目標】

- 時間外在校等時間が月80時間以上となる教員をゼロとします。
- 年次休暇の平均取得日数を20日にします。

【目指す姿】

- ・ こどもたちへの質の高い教育を持続的に実現できるよう、働き方の見直しが図られている。
- ・ 教職員一人一人が、誇りとやりがいを感じながら業務に取り組んでいる。
- ・ 教職員が、家庭のための時間や自由時間を確保できている。

3 (2を達成していくための) 具体的取組内容

(1)	教職員の健康管理	ア か・えるの日を週初めの曜日に設定し、管理職が、定時退庁について積極的に呼びかけを行います。 イ 時間外在校等時間が月途中で40時間超となった教職員に声掛けし、健康確保の観点から、時間外在校等時間の調整を行います。
(2)	学校における業務改善の推進	ア 教育において真に必要な観点から業務の見直しを進めます。 イ 校務のICT化を進め業務の効率化を進めます。
(3)	業務の明確化・適正化の推進	ア 働き方改革の取組について、保護者や地域の方に理解いただけるよう周知をします。 イ 部活動指導について、部活動指導者や外部コーチの配置を積極的に進め、円滑な部活動運営に努めます。
令和7年度 重点取組事項		部活動指導について、週休日振替の取得を積極的に進めるなど、ワークライフバランスを保ち、活性化と健康の両立を図ります。

- ・ プランを学校のHPに掲載し、会議等を通じて教職員にも周知します。
- ・ 各種会合を通じて、地域・保護者に対してプランの内容の説明を行います。